

令和 3（2021）年度 ひろしまバイオデザイン フェローシップコース募集要項

（令和 2(2020)年 11 月 20 日）

1 趣旨

広島大学バイオデザイン共同研究講座において令和 3（2021）年度に開講する第 3 期の医療機器開発のための人材育成プログラムのフェロー（受講生）を次のとおり募集します。

2 コンセプト

- 約 20 年前にスタンフォード大学において始まった医療機器開発のための実践的な人材育成プログラムであるバイオデザインについて学ぶことができます。
- 我が国では、東北大学・東京大学・大阪大学においてプログラムが 6 期目を迎えており、成果としては、既にスタートアップ 5 件、VC ファンドレイジング 3 件、特許出願 10 件、パイアウト 1 件が出ています。
- 広島大学では昨年度からコースを開講しており、現在、2 期目が活動中です。第 1 期の成果としては、特許出願 1 件となっております。
- ファカルティ（教員）は全インド医科大学のインド・バイオデザイン SIB の修了生であり、プログラムの内容は SIB の課程をベースにしています。
- フェローは、医師などの医療従事者、デザイナー、エンジニア、経営企画・管理、ファイナンスなど異なるバックグラウンドから、多様性のあるチーム編成を行います。
- コースの中心となるのは医療現場観察に基づくアンメットニーズ（まだ満たされていない潜在的なニーズ）の探索から、世の中に本当に必要とされている医療機器の開発を目指しますが、ビジネスにイノベーションをもたらす手法としてのデザイン思考を学ぶことにより、医療機器以外の企業における製品開発等のプロセスへの応用も可能です。
- 併せて、大学院における関連科目の履修によりフェローシップに必要な知識・スキルの習得を目指すとともに、正規の単位付与を行います。

3 コースの概要

- 新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、医療現場観察の実施可否に関わらず、受講される方のご要望に応じて、事業の進捗やニーズの取扱いにより、コース内容をカスタマイズして開講します。
- 医療現場観察の実施が可能であると判断される場合に限り、従来型のフェローシップコースを開講します。

コース	内容	期間	知財	備考
フェローシップ	フルプログラム（従来型）	6～12 か月	本学 100% 帰属	現場観察が可能な状況となった場合に限る。
ニーズ持込み	企業が持っているニーズを持ち込み、インタビュー・現場観察等による検証、プロトタイプ製作等	6 か月	原則として 企業帰属	同一企業によるチーム活動に限定
手持ちニーズ提供	当講座が保有するニーズを基にプレストし、必要に応じて追加観察、情報収集	3～6 か月	本学 100% 帰属	

※その他、医療者限定コース、バックヤード観察コース、短期集中コースなどもカスタマイズ可能ですので、ご相談ください。

4 開講場所

(1) ラボ

広島大学霞キャンパス（広島市南区霞 1-2-3）

(2) 医療現場観察（予定）

県立広島病院（広島市南区宇品神田 1-5-54）

独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター（大竹市玖波 4-1-1）

地方独立行政法人広島市立病院機構広島市立舟入市民病院（広島市中区舟入幸町 14-11）

広島大学病院（広島市南区霞 1-2-3）

5 開講期間

令和 3（2021）年 4 月から令和 4（2022）年 3 月まで（コースにより調整は可能です。）

6 募集定員

4 名程度（コースにより調整は可能です。）

7 応募資格（いずれかに該当する方）

- 原則として、大学院修士課程以上を修了（終了予定を含む。）、もしくはヘルスケア関連産業等における実務経験 5 年以上の方
- 医療機器イノベーション、スタートアップや起業、デザイン思考に興味のある方
 - * インドとのやりとりに必要となるため、できれば英語によるコミュニケーションが可能な方が望ましい。

8 応募書類

- (1) 申込書
- (2) 最終学校の卒業・修了証明書及び成績証明書
- (3) 小論文 (A4 一枚程度)
バイオデザインで学びたいこと、あるいはバイオデザインを学んでやりたいこと
- (4) Resume もしくは CV (英語)

9 選考方法等

- (1) 募集期間 令和 2 (2020) 年 11 月 20 日(金)から令和 3 (2021) 年 1 月 29 日(金)まで
- (2) 選考期間 令和 3 (2021) 年 2 月上旬
- (3) 選考方法 書類審査及び面接の上、決定します。

10 費用

- (1) 受講料
本学所属の学生以外は、受講料を徴収します。詳細はお問合せください。
- (2) その他経費
 - コース受講中に発生する食費、交通費、宿泊費等については、別途実費負担をお願いします。詳細はお問合せください。
 - その他、知財管理の関係で経費が生じた場合の取扱いについては、コース開始前に、本学と協議の上、あらかじめ定めるものとします。

11 指導スタッフ (予定)

- (1) ファカルティ
 - 准教授 木阪智彦 (2017SIB フェロー)
 - 共同研究講座講師 松浦康之 (2018SIB フェロー)
 - 客員准教授 川瀬真紀
- (2) メンター
 - スタンフォード大学 池野文昭
 - 日印再生医療センター サミュエルアブラハム
 - 薬事コンサルタント 河原敦
 - 東京大学 吉本敬太郎
 - 立命館大学 藤井太平 (2016SIB フェロー)

1.2 大学院科目

フェローシップコースには、大学院において開講する次のバイオデザイン関連科目の履修を義務付けています。(科目等履修生の出願手続きについては別途ご案内します。)

- ・バイオデザイン概論Ⅰ（令和元（2019）年度から開講、前期 8 コマ）
- ・バイオデザイン概論Ⅱ（令和元（2019）年度から開講、後期 8 コマ）
- ・バイオデザイン演習Ⅰ（平成 30（2018）年度から開講、前期 15 コマ（集中形式））
- ・バイオデザイン実習（令和元（2019）年度から開講、通年 30 コマ）

1.3 基本的なプログラムスケジュール（予定）

時期	区分	内容	備考
4 月	DISCOVER	開始式 チームビルディング オリエンテーション・医療現場観察①	実習（～2 月） 演習Ⅰ
5 月		医療現場観察②（観察と課題の特定）	
6 月		医療現場観察③（ニーズの記述）	
7 月	DEFINE	ニーズの選択①（疾病の基礎・既存の治療法）	
8 月		ニーズの選択②（ステークホルダーと市場の分析）	
9 月		ニーズの選択③（ニーズの絞込み）	
10 月	DESIGN	コンセプト創出①（アイデア出し・解決策の創出）	
11 月		コンセプトの創出②（プロトタイプ製作）	
12 月		コンセプトの創出③（最終コンセプト選択） Medtech Summit 出席（インド）	
1 月	DEPLOY	事業化①（開発戦略とビジネスモデル）	
2 月		事業化②（計画立案と実践）	
3 月		修了式	

1.4 修了後の取扱い

（1）知的財産等の取扱い

創出された知財、または知財につながるニーズ、アイデア等の、フェローシップコースにおけるチーム活動の成果については、原則として、本学に帰属するものであり、必要に応じて一定期間、有償で優先的に実施権を付与するなど、詳細については、フェローシップ開始前に、本学と協議の上、あらかじめ定めるものとします。

(2) 証明書

コース修了後には、修了証明書（サーティフィケート）を発行します。（学位の発行はありません。）

1 5 お問い合わせ・申込み先

広島大学学術・社会連携室 バイオデザイン共同研究講座（担当：迫）

住所：〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3 臨床管理棟 1F

電話：082-257-1992／1555

FAX：082-257-1993

メール：biodesign@office.hiroshima-u.ac.jp